

第201期 営業の中間ご報告

ミニディスクロージャー誌
2020年4月1日から2020年9月30日まで



当行の概要(単体)

(2020年9月30日現在)

名称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)
所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号
電話番号	0776-24-2030(代表)
ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp/
設立年月日	1899年12月19日
資本金	179億65百万円
従業員数	1,384名(出向者、嘱託および臨時職員含めず)

店舗	有人店舗数/78か店 店舗内店舗数/17か店 その他/3か店 合計/98か店 ※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店(インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室(毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業)
主要勘定	店舗外自動機設備/125か所 (ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との共同設置を除く)
株式の状況	預金等残高 2兆7,179億円 貸出金残高 1兆7,851億円 有価証券残高 6,830億円 発行済株式総数 24,144千株 株主数 7,909名

発行 2020年11月

株式会社 福井銀行
経営企画グループブランド戦略チーム



地域とともに、 お客さまとともに、 時代の変化に 合わせて成長する

平素より福井銀行をお引立ていただき、
誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けているみなさまに心からお見舞い申し上げます。福井県においても本年2月ごろから新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、厳しい環境が続いています。そのようななかでも地元企業が事業を継続できるようしっかりと支援を行うことで地域経済の減速を最小限に抑え、感染収束後の社会構造の変化も見据えて、地元企業に対する新たな経営形態やビジネスモデルのコンサルティングを行っていくことが地域のリーディングバンクである当行の使命と考えています。お困りのことがございましたら、遠慮なく、お近くの福井銀行までご相談ください。

取締役 兼 代表執行役頭取
林 正博

本店建替えを契機に当行の責務を再確認

このたび本店の建替えが完了しました。本店建替えはお客様、株主さま、地域のみなさまなどの多くのステークホルダーのみなさまの支えがあって実現できたことであり、改めて御礼を申し上げます。当行は、地域の産業を支援するために地元の資本を結集して誕生した銀行であり、創立からこれまでを振り返ってみても、当行が成長できた背景には地元福井の発展があり、当行の存在は地元経済を抜きには考えられません。旧本店と同じ場所に新本店を建設したのも、120年の歴史を礎に、この地に腰を据え、地域のみなさまとともに、さらに未来へ飛躍していく銀行になることの決意表明でもあります。ステークホルダーのみなさまが当行を信頼、支援していただくことで、当行は安定的かつ継続的に地域発展に向けた取組みを行うことができ、結果として、当行の企業理念である地域に暮らす人々の豊かな生活の実現につながります。こうした循環をさらに確固たるものにするため、本店建替えを契機に当行の責務を再確認し、役職員全員が心を新たに企業理念の実現に取り組んでまいります。

福井の持続的な発展に向けた 福邦銀行との連携・協働

当行は2020年3月に福邦銀行と業務提携し、現在、両行の専門部署を中心に「サービス向上」「地域経済活性化」「組織・業務改革」「ふくい未来創造」の4つのテーマを設け積極的な意見交換と連携・協働に向けた検討を継続的に行っております。両行はともに福井県を主たる営業基盤とし、地域の活性化を使命・役割とする金融機関であり、同じ志を持つ両行の連携・協働を強化することで、地域経済の発展とお客さまサービスの一層の向上の実現を目指しております。こうした両行協働による取組みを「Fプロジェクト」と銘打ち、5月には福邦銀行小松支店を当行小松支店内に移転するなど様々な取組みを行っております。今後、数年かけて業務提携によるシナジー効果を生み出してまいります。資本提携に関しま

しては、業務提携の効果をより高めていく観点から、両行のグループ化を視野に入れた適切なあり方を引き続き協議してまいります。

福井の持続的な発展に向けて、 進化し続ける銀行へ

福井県内の人口減少と急激な少子高齢化の進展が想定され、また、新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、地域の持続的な成長に向けて銀行が地域に果たすべき役割は、より大きなものになっています。まずは、地元企業が事業を継続できるよう、手厚く支援を行っていくことが、中期経営計画で定めた計数目標の達成にもつながると考えています。また、コロナ禍への対応を継続的に行うとともに、将来を見据え、福井の持続的な発展に向けた施策も必要です。当行は、雇用の増加に向け、地域の「働く場所」「働く人」をふやすための取組みを、現在遂行中の中期経営計画『「企業理念」の実現に向けて(第1章)』の最重要課題と位置付けております。施策の効果を最大限に発揮するため、県や市町などの自治体や商工経済団体などと連携するとともに、当行においても、質の高いサービスの提供に向けた人員の再配置に加え、地元企業の業績改善を支援するため、コンサルティング機能の強化にも引き続き取り組んでまいります。

今後、福井の将来に向けて、地域産業を支える地域銀行の存在意義を再確認し、役職員一人ひとりが自分を高める努力を継続するとともに、前向きに働くことができる環境をつくり、常に進化し続ける銀行となるよう全力を尽くしてまいります。

これからも、より一層のご愛顧ご支援を心よりお願い申し上げます。

2020年11月

取締役 兼 代表執行役頭取
林 正博

目指すのは 「地域産業の育成・発展と 地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

「地域産業の助成こそ使命」という創立当時の想いは、
企業理念となって120年たった現在も変わらず受け継がれています。

Mission

存在意義

地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現
福井銀行は、明治32年「地域産業の助成こそ使命」という想いから、当時盛んになり始めた繊維産業を育成するために地主の蓄積した資本を結集して設立。地元を愛し、その発展に尽くすことを第一義とする無私の精神は、創立当初から福井銀行のDNAに深く刻まれ、120年たった現在も変わらず「企業理念」にしっかりと受け継がれています。

いつも、いつでも、いつまでも。

企業理念を原点とした「地域とともに」という福井銀行の想いを表した企業スローガンです。全職員から公募を行い、1,600を超える作品の中から採用されました。

Commitment

経営のコミットメント

トライアングル・バランスの実現

福井銀行グループは豊かな地域社会の実現のために
「職員の満足(働きがい)」
「お客さま(地域)のご満足」
「株主の方々(投資家のみなさま)のご満足」
をバランスよく高める経営を実現します

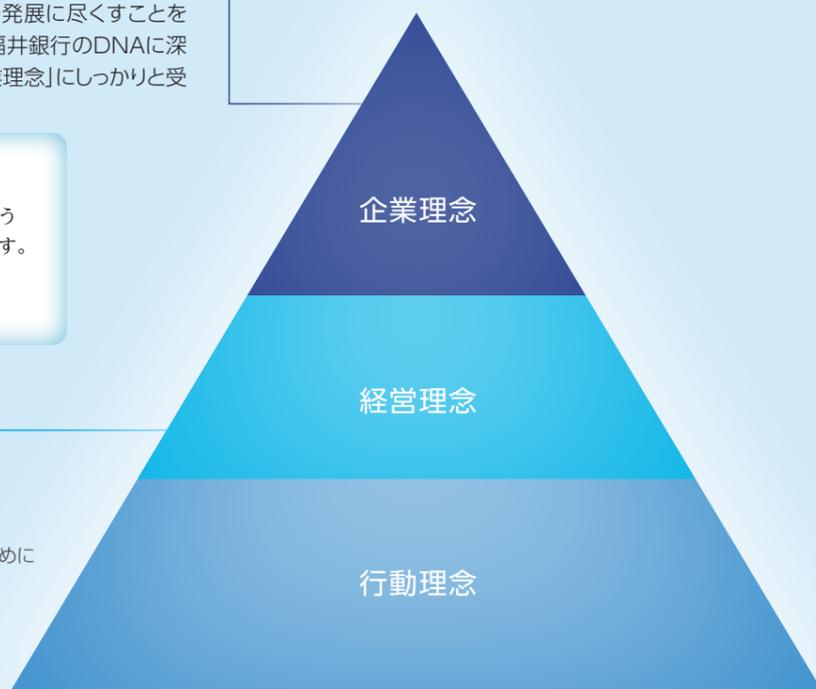
Action

役職員の日々の行動

誠実 × 情熱 × 行動

「誠実」…相手を大切に思い、
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず、
「行動」…実際の動きで示す

当行の理念



今日の誓^{*1}

- 一 自己を反省して人の悪口を言はざること
- 二 四恩^{*2}を感謝して吾職務に精励すること
- 右 今日一日の務めとして実行を誓ひます

^{*1} 「今日の誓」は創立者・市橋保治郎が禅の思想に基づき提唱したもので、福井銀行職員は、この「今日の誓」を行動のバックボーンとして業務に精励しております。

^{*2} 四恩・・・先祖の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

中期経営計画

「企業理念」の実現に向けて(第1章)～より早く、より深く、より広く～

企業理念を実現するために、『中期経営計画』では職員一人ひとりへのさらなる浸透をはかっております。
「より早く、より深く、より広く」を合い言葉に、地域とお客さまの成長を目指し、これまで以上に取り組んでまいります。
また『中期経営計画』の位置付けを「地域とともに、お客さまとともに、時代の変化に合わせて成長する期間」とし、社会的潮流を捉え、下記4つのテーマのもと、当行自身も変革しながら企業理念の実現のために行動してまいります。

中期経営計画の概要

タイトル	「企業理念」の実現に向けて(第1章)		
期間	2018年4月～2021年3月		
位置付け	地域とともに、お客さまとともに、時代の変化に合わせて成長する期間		
2つのコンセプト	より早く、より深く、より広く	変わる、変わる、変えられる	
4つのテーマ	お客さまをひやす 働く場所、働く人をひやす	コンサルティング 機能の強化	選択と集中 人づくり革命

4つのお約束

- お客さまのご相談に迅速に対応します(より早く)
- お客さまのお悩みに誠実に寄り添います(より深く)
- 地域に対して積極的に支援し続けます(より広く)
- 上記の3つに対して、「誠実」に「情熱」を持って「行動」できる人財を育てます

計数目標と実績

	2018年3月期 実績	2020年9月期 実績	2021年3月期 目標
事業性融資先数	9,848先	10,705先	10,500先
中小企業向け貸出残高	4,758億円	5,559億円	5,300億円
預り資産保有先数 [*]	33,965先	38,015先	40,000先
消費者ローン先数	66,037先	63,129先	70,000先

^{*} 投信、公共債、仕組債、外貨預金

■ 成果を出し続けるための組織体制

最適な経営資源の配分として、有人店舗網の集中を行うことや本部業務の見直しにより、「営業力」「コンサルティング能力」を強化すべく、本部コンサルティング人員の増強と、法人のお客さまに対する支援体制の強化を図っております。営業店、本部、グループ会社の連携により、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。

有人店舗数



本部コンサルティング人員数



営業店の法人営業人員数



福井銀行本店が生まれ変わりました!

地域のために、
このまちの人々の仕事と暮らしのために。
必要とされる銀行として。

120年の歴史を礎に、地元福井の発展を支えることが当行の使命であることを再確認し、
地域のみなさまとともにさらなる飛躍を目指してまいります。

メインコンセプト

地域をつなぎ、未来を創る

メインコンセプトに込めた思い

- ①お客さまがいつでも集える、親しみやすい空間
- ②新しい街づくりをリードしていく地域の顔
- ③活発なコミュニケーションとチャレンジの生まれる組織
- ④120年の歴史を礎に、未来へ飛躍していく銀行

デザインコンセプト

つむぎ 紡ぐ

地域に親しまれる銀行に相応しいデザインコンセプトは、
福井の伝統産業である繊維業に着目した「紡ぐ」です。
「紡ぐ」という言葉からは、小さな物を寄り集めて一つの
物を創る行為、人が集まりつながる様子、歴史を未来へ
継承すること等を連想することができます。

[福井銀行本店ビル]
敷地面積:4,482㎡
延床面積:13,174㎡
階数:地上7階
構造:基礎免震、鉄骨造
一部鉄筋コンクリート造



● 2階 イベントスペース・交流ホール

地域のみなさまが集いつながるための場所、広場のような街角のような開かれた空間にしたいと考え、お客さまにもご利用いただけるオープンスペースを設けています。

お客さま空間コンセプト

集う つながる
笑顔をつむぐ
おもてなし空間



ライブラリー [WiL]
本と人、人と人、人と地域を結ぶライブラリー。Work in Life...WiLは、新しい生き方・働き方のためのクリエイティブ空間です。



カフェ [THREE TIMES COFFEE]
忙しいビジネスタイムの中にも、心なごむお茶の時間を...。THREE TIMES COFFEEは、どなたにもご利用いただける「まちのカフェ」です。



ホール
柔らかな曲線と越前和紙の温かみに包まれた、400人収容のホール。様々な催しの場として、みなさまをお迎えます。

● 3～7階 オフィススペース

職員の開放的で多様なコミュニケーションを促し、効率的で時間や場所に縛られない自律的な働き方ができるオフィス空間を目指しています。

オフィス空間コンセプト

境界を越えて
新しい価値を紡ぐ
ワクワク空間

オープン・コミュニケーションエリア
部門の垣根を越えてプロジェクトを進めるオープンな空間。様々な部署が、お客さまのために知恵を絞ります。

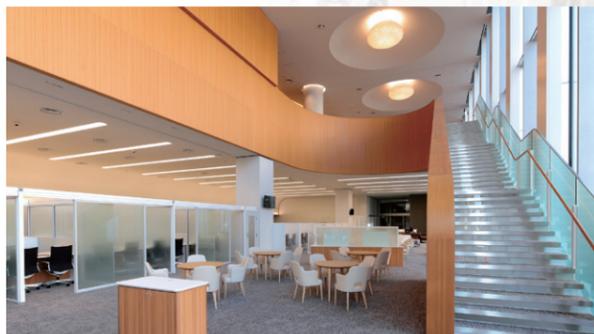


会議室
利用シーンに合わせて内装・家具を変えた会議室。「Classic、Advance、Natural」の3つのタイプから最適な場所を選択します。



● 1階 本店営業部

本店営業部としての確かな「上質さ」と、お客さまにお寛ぎいただける「居心地の良さ」を融合した新たな時代の銀行ロビー。木の温もりが感じられる自然なデザインに仕上げました。



災害時の業務継続態勢



免震構造



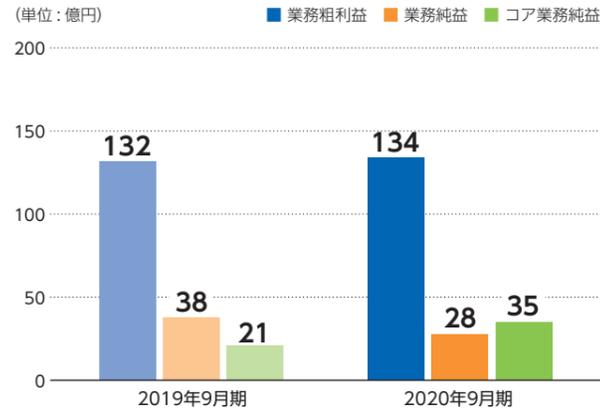
防潮壁

建物には基礎免震構造を採用し、非常用発電機や防潮壁を備えております。また、災害時の避難場所としての活用も想定しております。

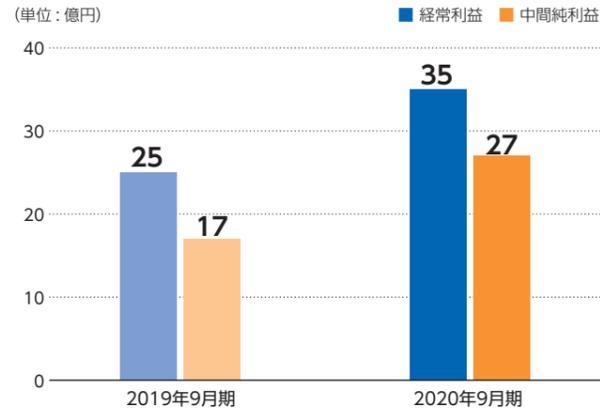
2020年9月期の決算についてお知らせします。

■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

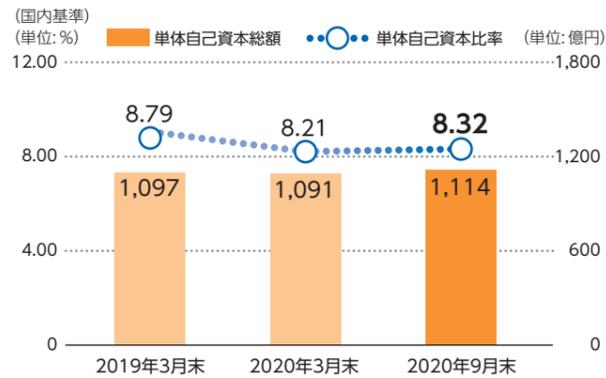


経常利益・中間純利益〈単体〉



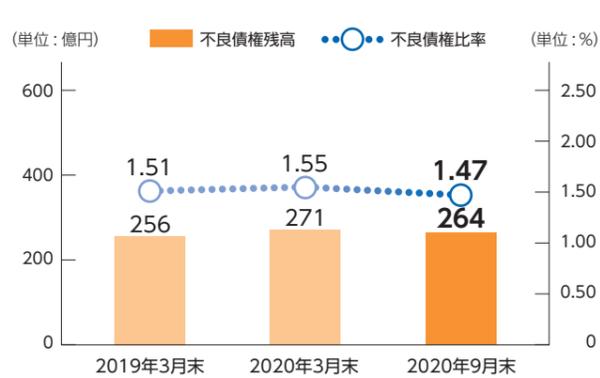
資金利益は増加したものの、役員利益の減少や国債等債券売却損の増加により、業務粗利益は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。一方で、前年同期は戻入となった一般貸倒引当金が繰入となったことから業務純益は減少となりました。また、銀行本来の利益を示すコア業務純益については、資金利益の増加を主因に前年同期比増加となりました。これらに加えて、不良債権処理額が減少したことから、経常利益・中間純利益ともに前年同期比増益となりました。

■ 自己資本比率〈単体〉



2020年9月末の単体自己資本比率は、当期純利益の増加を主因とした自己資本総額の増加により、8.32%と前期比増加しており、健全性を十分に確保しています。

■ 不良債権



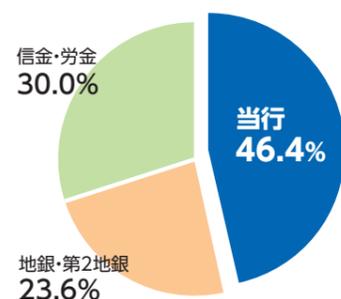
2020年9月末の不良債権残高は、お取引先の経営改善のお手伝いや不良債権処理を進めたことで前年度末比7億円減少し、264億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.08ポイント改善して1.47%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

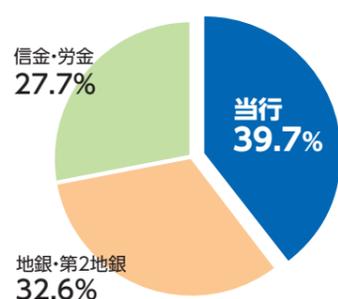
(2020年9月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア

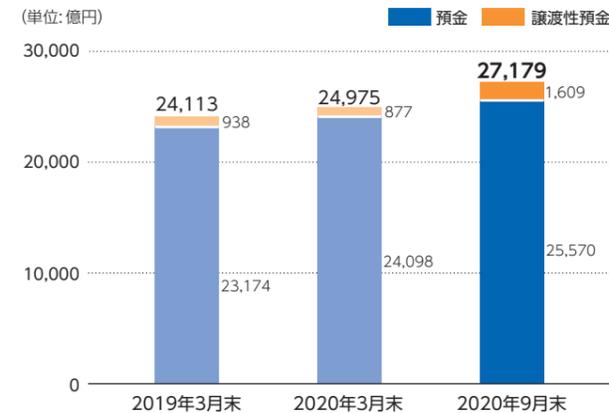


福井県内の貸出金シェア



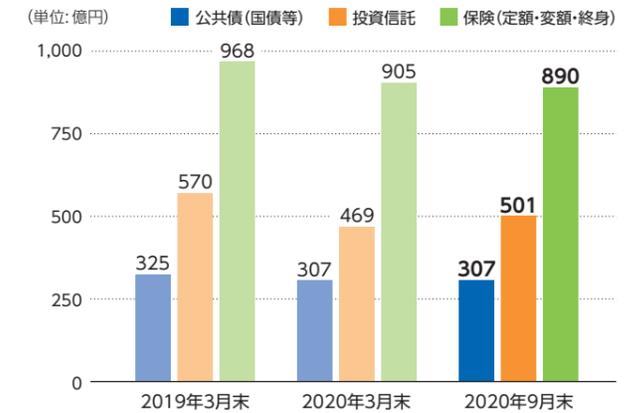
■ 預金等残高・預り資産残高

預金等



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・公金が増加したことから、全体で期中2,204億円増加し期末残高は2兆7,179億円となりました。

預り資産

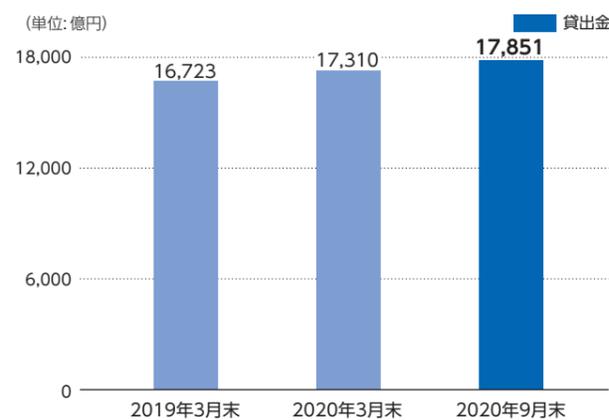


投資信託は期中32億円増加し期末残高は501億円となりました。保険(定額・変額・終身・養老)は、期中15億円減少し期末残高は890億円となりました。

公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額÷1万円)
保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

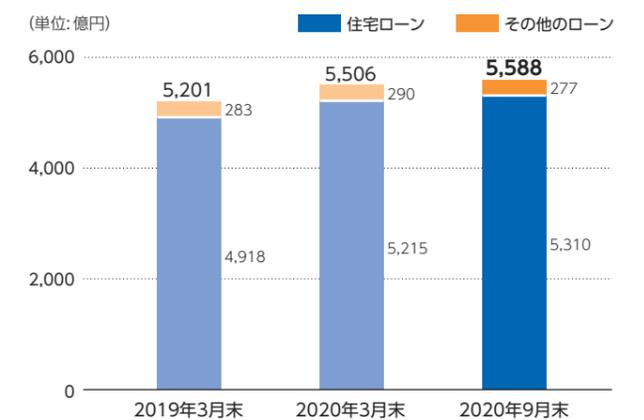
■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中541億円増加し期末残高は1兆7,851億円となりました。

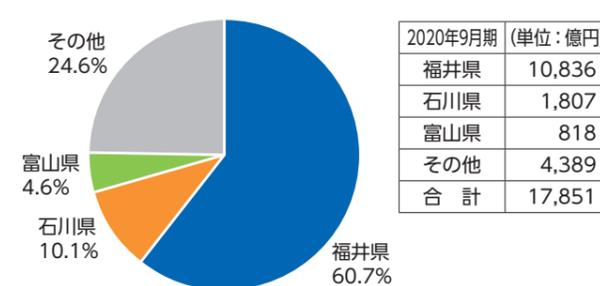
消費者ローン



消費者ローンは、期中82億円増加して期末残高は5,588億円となりました。うち住宅ローンは、期中95億円増加して期末残高は5,310億円となりました。

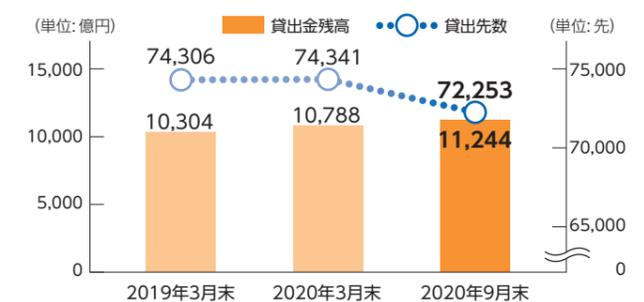
■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

貸出金残高の地域別内訳



北陸3県内での貸出金は1兆3,461億円、(うち福井県内1兆836億円)であり、貸出金全体の75.4%(うち福井県内60.7%)となっております。

中小企業等向け貸出金



中小企業等向け貸出金残高は期中456億円増加し1兆1,244億円となり、総貸出金残高の62.9%となりました。また、貸出先は、期中2,088先減少し72,253先となりました。

Fプロジェクト始動



2020年3月13日、株式会社福井銀行と株式会社福邦銀行は「地域経済の発展に向けた包括提携」を締結しました。両行が手を取り合うことで地域の持続的発展に貢献し、地域と両行の未来を創造していくためのプロジェクトという意味を込めて、本提携の名称を「Fプロジェクト」としました。

Fプロジェクトの概要と具体的な取組み

1. 本提携の主な内容

(1) 業務提携

両行の専門部署を中心に4つの分野ごとにプロジェクトチームを立ち上げ、積極的な意見交換と連携・協働に向けた検討を継続的に行っております。

(2) 資本提携

業務提携の効果をより高めていく観点から、両行のグループ化を視野に入れた最適なあり方を引き続き協議してまいります。福井銀行、福邦銀行の2ブランドを維持しながら、それぞれの強みを活かし、一つのグループとして地域経済および両行の持続的発展を目指してまいります。

2. 取組みの一例

● 店舗戦略における連携

両行の店舗網・店舗機能を相互に活用し、効果的な店舗運営の実現を目指しております。



福邦銀行小松支店を当行小松支店内に移転しました。



当行三国支店に福邦銀行の移動ATM車が巡回しています。



当行三番通出張所内に福邦銀行のATMを設置しました。

● クラウド基盤の共同利用

福邦銀行の分散システムを当行クラウドサーバーへ移行させ、稼働を開始しました。



● 「Fデザイン2020」の開催

両行職員の一体感の醸成、スキルとマインドの向上を目的とした交流会「Fデザイン2020」を開催しました。両行の若手・中堅職員が両頭取を交え意見交換を行いました。



● 事務の共同化

福邦銀行が行っていた、税金や公金の収納代理業務の一部を当行が受託しました。



3. 期待する効果(推計)

お客さま価値向上による業務粗利益増強で7億円、投資抑制で22億円、体質強化によるコスト削減で11億円、合計で40億円(5年累計、両行合算)のシナジー効果を見込んでいます。



〈主な提携内容〉

- お客さまに対して
⇒ **サービス向上** 検討プロジェクト
- 地域に対して
⇒ **地域経済活性化** 検討プロジェクト
- 効果的・効率的な業務運営に向けて
⇒ **組織・業務改革** 検討プロジェクト
- 人の融合、未来に向けて
⇒ **ふくい未来創造** 検討プロジェクト

株式についてのご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会

6月中

基準日

定時株主総会 3月31日
 剰余金の配当 期末 3月31日
 中間 9月30日

なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座振込みをご指定くださいますと早くて便利です。

株式事務取扱場所、取次所

- (1) 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

公告方法

電子公告の方法により、当行ホームページ(<https://www.fukuibank.co.jp/>)に掲載いたします。

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページアドレス
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
 (上記URLの「特別口座に関するお手続き(上場会社)」よりお入りください。)

証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

当行株式についてのお問い合わせ先

☎0120-094-777

受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9:00～17:00

郵便物送付先

相続手続以外 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
相続手続 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式300株以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

株主優待制度の内容

地元福井県の特産品または社会貢献活動に対する寄付から保有株式数に応じて選択していただけます。

保有株式数	優待品または寄付
300株以上1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上	5,000円相当

※優待品の例



(写真はイメージです)

※寄付について
2020年3月31日基準日の寄付につきましては、88名の株主さまにご賛同いただき、公益財団法人 福井銀行教育福祉財団に392,000円の寄付を行いました。

単元未満株式の買増制度

福井銀行では、単元未満株式の買増請求のお取扱いをしております。

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買増請求により、単元株式(100株)にすることができます。

〈例〉



〈必要書類等〉

- 単元未満株式買増請求書・取次依頼書
- 買増概算金

単元未満株式の買取制度

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買取請求により、当行が買取いたします。

〈必要書類等〉

- 単元未満株式買取請求書・取次依頼書

単元未満株式の買増および買取制度の詳細については、お取引の証券会社または株主名簿管理人三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせ願います。